



自分の境遇や環境の中で、打ちのめされず、しっかりと自己を保ち、周囲の人に積極的に働きかけ、そこにある問題と取り組み、正しい方向に向かってお互いを前進させていく自分となること…

これはある書物から引用した「主体性」の定義です。

「主体性」を持つことは「自己中心的」になることではありませんが、なんだか気遣いや配慮、お互い様、役立つ、譲る、譲ってもらう、感謝する心、受け入れる心、自分と他人、ポジティブとネガティブ、などなど、そういった（EQ=心の知能指数）が成長段階の交差点で迷子になり、人が生きづらい時代を迎えているなぁ感じています。（心の知能とは、自己や他者の感情を知覚し、また自分の感情をコントロールする知能を指す。）

昔からあまり変わっていないのは子どもたちの「生きようとする力」。
少なくとも変わってきているのは「大人たちの戸惑い」。

「しかしかつて子どもだったはずの世界中の大人たちが、「大人」になっていく道筋で“戸惑い”をどのように手に入れてきたのだろうか？」そんな思いを日々感じ考えながら、自分が子どもだったころの感情を思い出したり、園児一人ひとりの想いに寄り添いながら、勉強会や話し合いを続け「子どもの育つ環境」を模索し整えています。

金子みすゞの「みんなちがってみんないい」という言葉が、真の意味で子どもたち一人一人の笑顔につながる環境を創っていくのは、きっと気づいた大人たちから気づいたことを一つづつやり始めることなんだぁ・・・と目の前で一生懸命泣いたり笑ったり不思議がったり、やってみたり、失敗したり、喜んだりする子どもたちのキラキラを見てそう思います。
大人もこどもも共に育ちあう・・・ご一緒しましょう (^0^)

mineko

私と小鳥と鈴と 金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を早くは走れない。

私がかからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんな唄はしらないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

健診のお知らせ

※健診の日はAM9:00までに登園をお願いします。

6月4日(月)・5日(火) 尿・ギョウ虫検査提出
6月13日(水) 内科健診(ひよこ・うさぎ・ようちえん組)
6月21日(水) 内科健診(かんがるー・らいおん・くじら組)

おたんじょうび
おめでとうございませう。

6月うまれ

個人情報により
削除させていただきます。

おたんじょうびおめでとうございませう!

スイミングスクール (3歳以上の希望者)

スイミングスクールと保護者との直接契約です。
※希望者は保育士へ問い合わせてください。

1日・8日・15日・29日

6月の暦

6/4(月)~5(火) 尿・ギョウ虫検査提出日
※朝9:30までに指定の場所へ提出をお願いします
6/9(土) 14:00~ 職務会
※家庭保育のご協力をお願いします。
6/13(水) 内科健診(ひよこ・うさぎ・ようちえん)
6/20(水) 内科健診(かんがるー・らいおん・くじら)
6/23(土) 慰霊の日(休園)
6/28(木) お弁当会
6/30(土) 14:00~ 園内研修
※家庭保育のご協力をお願いします。

※お知らせ

ようちえんにじ組は、7/20(金)・21(土)にお泊まり保育を予定しています。
21日(土)はAM11:00までにお迎えをお願いします。

新しく風のうた保育園の仲間が増えました♪

個人情報により
削除させていただきます。



クラスだより

ひよこ組

4月に入園して早2ヶ月がたちました。

最近では、園生活や保育士にも慣れてきて1階の部屋中、探索活動を楽しんでいます。

また、友だち同士顔を見合わせては「バア～」とニコリ笑ったりする姿は微笑ましいですよ。

暑くなり、体調に気をつけながら園庭や散歩に出かけたり、指先を使った遊びをたくさん楽しんでいきたいと思っています。

かんがる一組

徐々に分園の生活リズムにも慣れてきたようで、自分から好きな遊びや居場所を見つけているかんがる一組さん。

活動ではまだまだ個々の発達の差が大きいので、発達に合わせたグループ分けをし、子ども達が無理なく生活出来るよう心掛けています。高月齢は時に遊びの中で、お互いの思いがぶつかり合う事もありますが、少しずつ相手の思いに気付くようになってきています。そのような経験を通して順番やルールなども理解してきているようです。また、遊びを展開させて楽しむ姿も見られます。月齢が低い子は何でも「自分でやる!!」と自己主張することが増え、一生懸命自分で取り組もうとする姿にたくましさを感じています。また、遊びの面ではお友だちと思いがぶつかり泣いてしまうことも多々あります。保育者は気持ちを受けとめたり関わり方を知らせながら、自分の気持ちを言葉で伝えられるように関わっていますよ。さて、かんがる一組さんでは歯ブラシの取り組みに向けて、まずは食後のぶくぶくうがいをしています。始めは飲み込んでしまう子もいましたが、少しずつ上手になってきていますよ。歯ブラシの練習も含めご家庭でも一緒にやってみて下さいね。また、少しずつ暑さが厳しくなっています。活動と休息のバランスに気をつけながら、生活リズムや体調を整え夏本番を迎えたいものですね。

らいおん組

新しい環境にも慣れて、らいおん組の子ども達は、ほし・はな・ちょうの3つのグループに分かれてくじら組や幼稚園組のお兄さんやお姉さんと活動を共にしています。

お散歩の時には年上の子に手を繋いでもらって少し離れた公園へも出かけています。時には「仲間に入れてくれない・・・」と泣きべそをかいて保育士に訴える事がありました。「どうして仲間に入れてくれないのか聞いてみたら？」と伝えました。子ども達の会話聞いてみると「仲間に入れてって言わないから!」それを聞いて「仲間に入れて。」とすんなり仲間に入れてもらい遊ぶ場面も見られました。これまでになかったルールや関わり方を日々の中で学んでいます。私たち保育士も子ども達が日々楽しく過ごせるよう関わっていききたいと思っています。

うさぎ組

新年度うさぎ組がスタートして、2ヶ月がたちました。

子ども達も徐々に生活の流れを少しずつ理解しながら頑張っています。個人差はありますが、身の周りの出来ることは、子ども達が取り組めるような環境作りをしていきたいと思っています。散歩では、子ども達同士で手を繋いで歩ける子も増えてきました。今は、道路の端を歩く練習をしています。

友達との関わりが増えた分おもちゃの取り合いや場所の取り合いも多いですが、自分のおもちゃを友達に譲ってあげたり、泣いていても切り替えて、次の遊びを見つけられる姿が見られます。また、泣いている友達の背中を優しくトントンしてあげる優しい姿も見られ成長を感じます。

着脱面では自分でズボンを履こうとしたり、1人で頑張ろうとする姿が見られます。子ども達の1人でやってみようとする気持ちを大切にしたいと思います。その為、1人で着脱しやすいゆとりのあるズボンとTシャツを準備して下さい。

くじら組

友達の存在が大きくなって仲間意識がどんどん強くなってきているくじら組さん。「親友」と呼び合える仲間がいたり、泣いているお友だちを励ましたり、その間問題解決の手助けの為に怒ったり、泣いたり仲間の存在は大きいんだと感じてきている時期だと思います。また、最近は折り紙で上手にハートを作れるようになったり、フラフープを回すことが出来るようになったり、登り棒を1人で降りられる様になったり、手先や身体の発達も感じられます。子ども達それぞれが興味があることを出来るようになりたいという目標をもって、その目標に向かって繰り返し取り組んでいる日々です!!一緒に見守っていきましょうね。

ようちえんにじ組

新しい環境での生活にも慣れてきたので、最近、ほし・はな・ちょうでの異年齢グループで活動する事が増えてきました。お集まりでもクラスごとでなく、グループごとに並んでいるのですが、まだそれに慣れていないらいおん組の子に「前によって～」と優しく声を掛けたり、手招きする姿が見られます。また、散歩の出発前は率先して下の子を誘いペアを作り、散歩中も道路を渡る際に車が来ないかの確認や手を上げて渡るなどのカッコいい見本となってきています。

大人が全部教えてしまうのではなく、お兄ちゃんお姉ちゃんの力を借りることで、下の子は上の子を頼りにしたりにじ組のみんなはその中で相手にどう伝えるか一生懸命に考え、コミュニケーション力を伸ばしていき、お互い成長しあっていくのだと思います。